

2019年度第1回市議会との意見交換会メモ

第1回白井市議会（都市経済常任委員会）との意見交換会を下記のとおり開催し、その概要は、以下のとおりでした。

記

1 名称 2019年度第1回白井市議会との意見交換会

2 開催日 2019年11月13日（水）10:30～

3 場所 白井市公民センター・1F会議室

4 出席者

当協議会 野水代表理事、白山副代表理事、駒村副代表理事、藤本副代表理事、
秋山理事、木村理事、徳丸理事、名田理事、奥村理事、堀田理事、
原田幹事、吉川前幹事、染谷事務局長、塚原事務局長

白井市議会 長谷川市議会議長、

都市経済常任委員会：植村委員長、影山副委員長、小田川委員、秋谷委員、
平田委員、石川委員

5 意見交換事項

今回は、以下の事項について意見交換をし、相互理解を図った。

1 議員の皆さんが考える「まちづくりと産業振興」及び「白井工業団地の活性化」
について

{主な意見}

- ・工業団地の操業環境、交通課題に取り組む必要がある。
- ・市全体としてバス交通に課題があり、市外に転出する原因ともなっていることから、この解決が必要である。
- ・工業団地や各会社を市民に知ってもらう、周知が必要である。
- ・道路に整備の必要性を強く感じている。
- ・バス路線、道路網などの導線が悪いので、解決する必要がある。
- ・市の主幹産業は、農業も必要だが、これからも伸びる工業（工業団地）が中心である。
- ・市の活力には、産業振興、特に商工業の振興が重要である。
- ・市から印西や松戸に多くの人口が流出している。働く場が必要であり、その役割は工業団地に期待している。
- ・交通問題等の課題解決に協力していきたい。
- ・元気な街にするには、イノベーションを起こしていかなければならない。
- ・交通課題、アクセスの問題は、行政レベルの問題として捉えなければならない。
- ・市の活性化には、産業の活性化が必要で、そのための投資を市としても行う必要がある。

2 白井工業団地における課題等

1) 道路整備関係

- ・工業団地アクセス道路の早期整備

・桜台地区からの構想道路の早期着手と沿線開発

- 2) 上水道整備関係
- 3) 交通インフラ（バス路線等）の整備関係
- 4) 交通規制（大型車通行規制等）の解除関係
- 5) 地元雇用関係
- 6) その他

{主な意見等}

- ・渋滞の緩和、交通安全などのため、拡幅、歩道整備、右折帯整備など道路の改善が必要である。
- ・マイカー通勤とバスの関係を調査し、バスの必要性を高める必要がある。
- ・アクセスの悪さ、交通インフラの悪さから、印西などに企業も流れているのが現状であり、早期に交通関係を見直す必要性が非常に高い。急務である。
- ・国道16号沿いは、商工業用地として、開発が可能となるよう見直すべきである。
- ・公民センターを協議会で管理した場合は、どのようにして行くのか。協議会で管理をさせていただき準備はして行く。
- ・バスがないため、地元雇用が進まない、特に障がい者雇用には大きな障害となっている。
- ・近年、地下水汚染がひどくなってきており、飲料用に使用できない事業所もあることから、上水道の早期整備が必要である。
- ・バス路線が高柳駅や新鎌ヶ谷駅に向いており、白井駅や西白井駅に繋がっていない。このことから、通勤には、当然不便であるとともに、市内の駅に人が集まらず、各駅前商店街にも影響があると感じている。
- ・構想道路の整備と合わせてその沿線の開発をしていただきたい。現在の工業団地ではこれ以上の企業進出に限界がある。また、従業員の社宅や住宅が必要となっている。

*丸善株式会社の吉川氏から、大型車の通行規制により事業に多大な影響が出ており、工業団地内だけでも解除していただきたい旨の要望をし、協力を求めた。

まとめ

今回の意見交換会を通して、市議会議員の方々の考えや工業団地の抱える課題などを相互に確認し理解がされたものと感じている。

今後もこのような意見交換を行いながら、産業基盤の整備による地元産業の振興、雇用の拡大などにより白井市の活性化のため、連携して各種の課題解決を図って行くこととする。

以上